

愛媛県松山市

コンセプトは『“グローバル”なインフラの町医者』 農商工福連携など地域に根ざした営み

1957年創業の建設会社。道路舗装や公共インフラの管理、環境型建材・資材等の製造並びに販売等を中心に行う。同社を筆頭とする愛亀グループは、地域内での建設関連事業による連携化・複業化を通じた身近で多様な地域内インフラの整備への貢献を目的として、『インフラの町医者』というコンセプトを掲げている。同社は、カンボジアでの舗装工事・舗装資材製造販売、キルギスにおけるビジネス展開に係る調査など、海外展開も進めている。

●所在地 愛媛県松山市南江戸2丁目660-1

●電話/FAX 089-921-3030/089-913-7432

●URL <https://www.ikee.jp/>

●代表者 代表取締役社長 西山 周

●設立 1957年

●資本金 4,500万円

●従業員数 190人



アジアを駆け、アジアに道を架けるインフラの町医者

愛媛県と友好関係にあるカンボジアにて、2014年度JICA中小企業支援事業案件化調査及び2015年度普及・実証・ビジネス化事業を実施。その後、カンボジアに現地法人を設立し、円借款事業へ前述の舗装補修材を供給しつつ、周辺国への水平展開を計画している。加えて、現在、キルギスにて同製品のビジネス展開に係る調査を行っている。また、同社では、現在までにアメリカ・イタリア・インド等で舗装を行い、現在は、他社とJVを組み、カンボジアの国道5号線の道路改修工事に取組んでいる。



カンボジアでのスタビライザー施工状況

農商工福連携～愛媛に生まれ、愛媛とともに～

同社は愛媛県内における舗装工事の雄として、豪雨災害からの復興を目指す大洲地域においても、地域に根ざす建設会社とJVを組み、災害復旧工事に取組んでいる。「インフラの町医者」を標榜し、建設関連事業による連携化に成功するだけでなく、グループ内の農商工福連携による6次産業化に取組むことで、地域に根ざす企業へと成長している。副次的に、雇用の多様性も確保できており、障がい者雇用をはじめ地域の人材の受け皿になっている。



愛亀グループ「農商工福連携プレー」

地域とともに育てる「資源を大切に作る心」と「良い土」

地元地域内におけるリサイクル推進、環境にやさしい低炭素型社会への推進を図るため、アスファルト殻やコンクリート殻を受入れ、再生資材として販売している。地元の剪定材等を受入れ、堆肥化し農業への活用も行い、地産地消への働き掛けも行っている。グループ企業内に、リサイクル事業や農業生産法人を抱えることで、二酸化炭素排出量の多い建設業界にありながら、カーボンニュートラルを目指し地域住民からの信頼も厚くなっている。また、平成14年に、愛媛県より優良循環型事務所として認定。



愛亀ASプラント